

第20回 アジア競技大会 開催構想

20th Asian Games Proposal

AICHI NAGOYA

第20回 アジア競技大会 開催構想

20th Asian Games Proposal

AICHI NAGOYA

Contents

愛知県知事挨拶	1
名古屋市長挨拶	2
愛知県議会決議／招致委員会	3

■ コンセプト

01 招致の意義／大会コンセプト	4
------------------	---

■ 競技関係

02 開催期間及び実施競技	5
03 競技会場	6
04 選手村	34
05 気象データ	36

■ 運営関係

06 交通輸送	37
07 メディカルサービス	38
08 メディア	39
09 安全対策	40
10 選手村以外の宿泊関係	41
11 自然環境保護	42
12 財政計画	43
13 国際大会／会議の実績	44

■ 大会の盛り上げ

14 選手強化の協力	45
------------	----



愛知県知事 大村秀章

Governor of Aichi Prefecture
Hideaki Omura

アジア競技大会は、スポーツを通じ、アジアの人々が尊敬や友情によって結びつき、アジア地域の親善及び平和に寄与する、素晴らしいスポーツ大会です。

この度、日本において、広島大会以来、約30年ぶりとなるアジア競技大会を、愛知・名古屋で開催したいと切望し、大会を成功させることができるよう、開催構想を作成しました。

愛知・名古屋は、地理的に日本の中心に位置していることに加え、日本一のTechnology（技術）とTradition（伝統）を誇る“Heart”of JAPANと言える地域です。そして、日本有数の都市機能や人口集積、自動車・航空機など活力ある産業を背景とした経済力を有しています。さらに、数多くのスポーツチームの本拠地として、県民・市民がスポーツへの関心や理解を示し、支援する土壌が培われています。

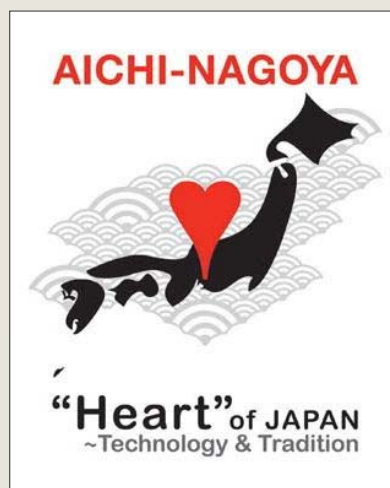
愛知・名古屋で大会を開催することとなれば、確固たる経済力と、県民・市民による最高のおもてなしにより、地域を挙げてアジア競技大会を成功に導くことができるものと確信しています。

また、この地域は、国内外との交通アクセスが優れていることから、全国、更にはアジアの国や地域から多くの観戦客を集めることができ、また、大会を契機に拡大するアジアとの交流を全国に波及させることができます。

2027年度には、国家的な事業として、リニア中央新幹線の開業が予定されており、愛知・名古屋は首都圏と約40分で結ばれ、リニア大交流圏が形成されます。愛知・名古屋での開催にあたっては、この世界初の超電導リニアプロジェクトも併せてアジアに発信し、アジア競技大会への注目度を一段と高めてまいります。

アジア40億人の代表として参加するアスリートに最高の舞台を用意するとともに、大会後においても、その開催が末永く語り継がれ、また、大会を契機として、県民・市民ひとりひとりが、より一層、スポーツに親しみ、アジア諸国に対する尊敬や友情の精神を育てていくことができるよう、地域が一体となって取り組んでまいります。

“Heart”of JAPANである愛知・名古屋でアジア競技大会を開催し、大会及びアジア地域のますますの発展に貢献できることを心から願っています。





名古屋市長 河村たかし

Mayor of Nagoya City

Takashi Kawamura

この度、名古屋市は愛知県とともに第20回アジア競技大会の招致を目指し、開催構想を作成しました。

アジア競技大会は、アジア版のオリンピックとも言われ、オリンピックに次ぐ参加選手数を誇る権威あるスポーツ大会です。

リニア中央新幹線の開業を控え、またグローバル化が進む中、国際的な都市間競争を勝ち抜くためには、名古屋らしい魅力を創出し、国内外に発信するとともに、おもてなしを充実することや、国内外の交流によるぎわいづくりを進めることが必要となっています。国際的なスポーツイベントについても、都市の競争力・ブランド力の向上に資する重要な要素であると考えており、アジア競技大会を招致することは、愛知・名古屋の都市魅力の向上につながると確信しています。

当地域では、2016年3月の「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2016」に続き、2016年6月には「第100回日本陸上競技選手権大会」が開催され、さらに2017年4月には「第93回日本選手権水泳競技大会」の開催が予定されるなど、昨今、愛知・名古屋地域のスポーツイベントへの注目が高まっております。

また、世界のトップアスリートによる熱戦は名古屋市民、愛知県民のスポーツへの関心を高めるとともに、選手・指導者の資質向上につながり、地域のスポーツの振興にも寄与します。アジア競技大会の開催をきっかけに、当地域にスポーツをみんなで楽しむという風土をつくり、愛知・名古屋を日本で最もスポーツが盛んな地域にしていきたいと思います。

愛知・名古屋はこれまで「愛・地球博」、「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」といった世界的なイベントや国際会議を開催してきました。こうした経験や知識を生かしてアジア競技大会を成功に導き、選手・大会関係者等との交流を通じてアジア地域とより強い結びつきを築いてまいります。

愛知県議会決議／招致委員会

愛知県議会は、第20回アジア競技大会の招致を決議しました。

愛知県議会の招致決議

第20回アジア競技大会の招致についての決議

国際スポーツ大会の開催は、選手の技術力やコーチの指導力向上はもとより、一流の競技を間近で観戦し、スポーツへの関心が高まることによって、スポーツの振興を通じた地域の活性化に大きな効果をもたらすことが期待できる。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に続き、2026年に開催予定のアジア最大のスポーツの祭典である第20回アジア競技大会を、愛知・名古屋へ招致することができれば、本県、ひいては日本全体のスポーツの発展に大きく寄与することになる。

また、本大会は、2027年度に予定されているリニア中央新幹線の開業を見据えたビッグ・プロジェクトとして、超電導リニアを世界に発信する場となり、その効果を生かすことによって、愛知・名古屋における交流人口の拡大や国際競争力の強化、さらには成長著しいアジア地域とのより強固な連携の構築につなげることができる。

よって、本県議会は、2026年に開催予定の第20回アジア競技大会の招致を強く望むものである。

以上、決議する。

平成28年7月5日
愛知県議会

愛知県、名古屋市及び関係団体が一丸となって招致活動に取り組むための組織として、「アジア競技大会愛知・名古屋招致委員会」を設立しています。

アジア競技大会愛知・名古屋招致委員会名簿

会長	愛知県知事	
会長代行	名古屋市長	
副会長	(公財)愛知県体育協会会長 愛知県商工会議所連合会会長 (一社)中部経済連合会会長	
委員	愛知県議会議長 名古屋市長 愛知県市長会会長 愛知県町村会 愛知県市議会議長会会長 愛知県町村議会議長会会長 (公財)名古屋市教育スポーツ協会副理事長	愛知県商工会連合会会長 日本労働組合総連合会愛知県連合会会長 (公財)愛知県国際交流協会会長 (公財)名古屋国際センター理事長 (一社)愛知県観光協会会長 (公財)名古屋観光コンベンションビューロー理事長

01 招致の意義／大会コンセプト

招致の意義

アジア最大のスポーツの祭典、アジア競技大会。

この大会は、アジアのトップ選手が集い、己の力を発揮する最高の場です。

私たちは、2026年開催予定のアジア競技大会を、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを引き継ぐ、日本のスポーツ界の次なる大きな目標として位置づけたいと考えています。

愛知・名古屋は、世界有数の産業力などを背景にアジア地域との結びつきが強く、また、プロや実業団、学生などのスポーツが非常に盛んな地域です。

こうした地域が一体となって、アジアを代表するアスリートに最高のパフォーマンスの場を提供し、スポーツの振興や国際交流の促進、大会開催を通じた人づくり、また、交流人口の拡大や国際競争力の強化など様々な効果を生みだし、愛知・名古屋のみならず、日本全体の成長に貢献したいと考えています。

国際的な友情と平和の促進というアジア・オリンピック評議会(OCA)の崇高な理念のもと、素晴らしい大会にできるよう、最善の努力をまいります。

大会コンセプト

アスリートファーストの視点

▶ 大規模な国際大会等で培われた運営能力や、万全の警備体制、快適な滞在環境を提供します。また、今後の計画策定や大会運営において選手の意見を取り入れることにより、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を用意します。

既存施設の活用

▶ 競技会場は、愛知・名古屋に集積する既存のスポーツ施設の活用を中心に展開し、必要に応じて仮施設での対応とすることで、大会開催時及び開催後における経費の低減を図ります。

先端技術の駆使

▶ 「産業首都」のポテンシャルを発揮し、競技運営を始め、交通輸送や安全対策など、様々な分野に最新技術を導入し、アスリートや大会関係者、観戦客に快適で安心・安全な競技環境及び滞在環境を提供します。

▶ 競技の観戦においても、先端技術を取り入れたスポーツの新たな楽しみ方を提供することを検討していきます。

伝統と県民・市民性に触れるおもてなし

▶ 多くの戦国武将を輩出した地域としての歴史や文化が感じられるおもてなし、また、この地域独自のグルメである「なごやめし」で、愛知・名古屋を訪れる方々を歓迎します。

▶ 愛知・名古屋の行政、スポーツ・経済・観光関係団体、マスメディア、企業・NPOなど地域の関係者が参画する「あいちスポーツコミッション」、また、2005年日本国際博覧会(愛・地球博)や名古屋ウィメンズマラソンを始めとした大規模イベントで培われたボランティアが一体となり、地域を挙げて大会を盛り上げます。

アジア競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献

▶ アジア競技大会の開催実績を、地域全体のブランドとして、また県民・市民の誇りとして、大会後においても様々な国際大会を開催し、地域の活性化を図るとともに、アスリートの競技力の向上や、スポーツを楽しむ文化の普及に貢献します。

▶ スポーツによる子ども達の健全な成長に寄与するとともに、国際的な友情と平和の促進というOCAの崇高な理念を次世代に伝えていきます。

02 開催期間及び実施競技

開催期間

第17回(2014年)仁川大会と同時期の、2026年9月18日(金)から10月3日(土)の16日間と仮定します。

この時期は好天である確率が高く、開会式予定日の好天日出現率は70%、開催期間の好天日出現率は平均約80%(2006年～2015年気象庁データより)となっています。

実施競技について

実施競技は、OCA憲章第68条により決定します。

本構想では、第18回(2018年)ジャカルタ大会で実施が予定されている36競技(追加競技を除く)と同じと仮定します。

オリンピック競技大会では採用されていない競技も行い、アジア競技大会ならではの魅力を発信します。

競技・種目		
1	水泳	競泳
		飛び込み
		シンクロナイズドスイミング
		水球
2	アーチェリー	
3	陸上競技	フィールド
		トラック
		マラソン
		競歩
4	バドミントン	
5	バスケットボール	
6	ボクシング	
7	カヌー・カヤック	スプリント
		スラローム
		ポロ
8	自転車	トラックレース
		ロードレース
		マウンテンバイク
		BMXレース
9	馬術	
10	フェンシング	
11	サッカー	
12	ゴルフ	
13	体操	体操
		新体操
		トランポリン
14	ハンドボール	

競技・種目		
15	ホッケー	
16	柔道	
17	近代五種(ランニング&射撃/馬術/フェンシング/水泳)	
18	ボート	
19	ラグビー	
20	セーリング	
21	射撃	ピストル
		ライフル
		クレー
22	卓球	
23	テコンドー	
24	テニス・ソフトテニス	テニス
		ソフトテニス
25	トライアスロン	
26	バレーボール	バレーボール
		ビーチバレーボール
27	ウエイトリフティング	
28	レスリング	
29	野球・ソフトボール	野球
		ソフトボール
30	ボウリング	
31	クリケット	
32	カバディ	
33	マーシャルアーツ	
34	セバタクロ	
35	スポーツクライミング	
36	スカッシュ	

03 競技会場

競技会場選定の考え方

- ▶ 県内競技団体へのヒアリング結果などを参考にして、競技ごとに実施施設を想定しました。
- ▶ 体育館を利用する競技については、県内競技団体へのヒアリング結果を参考にしつつ、できるだけ、2020年東京オリンピック競技大会において収容人数が多い競技に県内の収容人数の多い施設を当てはめました。
- ▶ 更に、上記で想定した施設について、競技エリアの国際基準適合性も確認し、会場候補としました。
- ▶ 競技会場は、開催までの間に、関係者との調整により、変更される可能性があります。



競技・種目		競技会場(想定)	既存	仮設	計画	検討中
1	水泳	競泳	① 名古屋市総合体育館 (レインボープール)	●		
		飛び込み				
		シンクロナイズドスイミング				
		水球				
2	アーチェリー	② 岡崎中央総合公園(多目的広場他)	●			
3	陸上競技	フィールド/トラック	③ 瑞穂公園陸上競技場		●	
		マラソン	④ 瑞穂公園陸上競技場(都心コース)		●	●
		競歩	④ 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース		●	
4	バドミントン	⑤ ウィングアリーナ刈谷	●			
5	バスケットボール	⑥ 豊橋市総合体育館	●			
		⑦ 一宮市総合体育館	●			
6	ボクシング	⑧ 春日井市総合体育館	●			
7	カヌー・カヤック	スプリント	⑨ 長良川国際ポートコース(海津市、愛西市)	●		
		スラローム	⑩ 矢作川カヌースラロームコース(豊田市)	●		
		ポロ	⑪ 保田ヶ池(みよし市)	●		
8	自転車	トラックレース	⑫ 伊豆ベロドローム(伊豆市)	●		
		ロードレース	⑬ 奥三河地域		●	
		マウンテンバイク	⑭ 名古屋市内		●	
		BMXレース	⑮ 大規模展示場駐車場		●	
9	馬術	⑯ 愛知県森林公園	●	●		
10	フェンシング	⑰ 大規模展示場			●	
11	サッカー	⑱ 豊田スタジアム	●			
		⑲ 港サッカー場	●			
		⑳ 豊田市運動公園球技場	●			
		㉑ ウェーブスタジアム刈谷	●			
		㉒ 豊橋市民球技場	●			
12	ゴルフ	㉓ 愛知カンツリー倶楽部	●			
13	体操	体操	⑳ 名古屋市総合体育館 (レインボーホール)	●		
		新体操				
		トランポリン				
14	ハンドボール	㉔ テバオーシャンアリーナ	●			
		㉕ 名古屋市稲永スポーツセンター	●			
15	ホッケー	㉖ 岐阜県グリーンスタジアム(各務原市)	●			
16	柔道	㉗ スカイホール豊田	●			
17	近代五種	ランニング&射撃/馬術	⑳ 愛知県森林公園		●	
		フェンシング	⑰ 大規模展示場			●
		水泳	① 名古屋市総合体育館(レインボープール)	●		
18	ボート	⑨ 長良川国際ボートコース(海津市、愛西市)	●			
19	ラグビー	⑲ 瑞穂公園ラグビー場	●			
20	セーリング	⑳ 海陽ヨットハーバー	●			
21	射撃	㉑ 愛知県総合射撃場	●			
22	卓球	㉒ 西尾市総合体育館	●			
23	テコンドー	㉓ 名古屋市枇杷島スポーツセンター	●			
24	テニス・ソフトテニス	㉔ 名古屋市東山公園テニスセンター	●			
25	トライアスロン	— 調整中				●
26	バレーボール	バレーボール	㉕ 愛知県体育館	●		
		ビーチバレーボール	㉖ パークアリーナ小牧 ⑳ (仮称)碧南緑地ビーチコート	●		●
27	ウエイトリフティング	㉗ 吹上ホール	●			
28	レスリング	㉘ 岡崎中央総合公園(体育館)	●			
29	野球・ソフトボール	野球	㉙ ナゴヤドーム	●		
			㉚ 岡崎中央総合公園(市民球場)	●		
			㉛ 小牧市総合運動場野球場	●		
		ソフトボール	㉜ 刈谷球場	●		
			㉝ 安城市総合運動公園ソフトボール場	●		
30	ボウリング	㉞ 稲沢グランドボウル	●			
31	クリケット	㉟ 愛・地球博記念公園野球場		●		
32	カバディ	㊱ 東海市民体育館	●			
33	マーシャルアーツ	㊲ 愛知県武道館	●			
34	セパタクロー	㊳ (仮称)瑞穂公園体育館			●	
35	スポーツクライミング	㊴ ポートメッセなごや			●	
36	スカッシュ	⑰ 大規模展示場			●	
			42	8	8	1